

会議録

令和4年9月21日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和4年度第3回定例会
開催日時	令和4年7月20日(水) 18時30分から20時10分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、ギログリー江美(副会長)、三沢英俊、荒井茂、谷関幸子、小須田厚子、海老澤裕恵、石川健、渡部國夫、小沼純子、荒井容子、高井正 職員：福所館長、市川事業係長(柳沢)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	中嶋太、青木美紀子、國府方館長補佐(芝久保分館長)、山本分館長(田無)、
議題	1 審議事項 (1) 令和4年度第1回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和4年度第2回定例会会議録(案)について 2 主催事業について 令和4年度公民館主催事業計画について(資料2) 3 令和3年度公民館事業評価一次評価について 4 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 (4) 西東京市教育計画策定懇談会報告 5 事務連絡及び情報交換 (1) 利用者懇談会について (2) 令和3年度公民館事業評価二次評価について (3) 令和4年度第4回定例会の開催について (4) その他
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 令和4年度第1回定例会会議録(案) 資料2 令和4年度公民館主催事業計画について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(2名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和4年度第1回定例会会議録(案)について(資料1) ●令和4年度第1回定例会会議録(案)について承認</p> <p>(2) 令和4年度第2回定例会会議録(案)について ●後日郵送する。</p> <p>2 主催事業について 令和4年度公民館主催事業計画について(資料2) ○A委員 高齢者対象講座「私だけの人生ノートづくり」(保谷駅前)について。単なるエンディングノートではなく一歩踏み込んだ講座。タブー視されていることを暗くならずに取り組んでいるのがよい。参加者の感想が楽しみである。突然死んだ時のことを普段話し合っていない現役世代向けの講座も検討してほしい。</p>

○B委員

保育付き講座である女性のための講座「これだけは知っておきたい！身近な世界を知る講座」（谷戸）、子育て中の女性のための講座「わが子を守る災害への備え～はじめの一步～」（ひばりが丘）について。どちらも子どもを預ける方だけではなく一般の女性も参加でき 내용이濃い。どのような講座、どのような学びになるのか期待している。保育報告会は保育室に子どもを預けていない方も参加するのか。女性のための講座（谷戸）は長期の講座なので、可能であれば第6回「講座振り返り」の時に、わずかな時間でも子どもの様子を伝える保育の中間報告を行えるとよいと思う。子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）は第8回と第9回の間が一か月開くが、子ども同士の関係をつなぐためのフォロー、例えば保護者に関係をつなぐ呼びかけをするなどはあるか。長期講座の場合、保育については中間報告があるとよいと思う。

○分館長(谷戸)

保育報告会は、保育室に子どもを預けていない方も参加する。「振り返り」の取り組みは担当者に意見を伝え、これから検討する。

○事業係長

保育のフォローや中間報告の意見を担当に伝え、検討する。

○B委員

子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）はオンラインによる取り組みがあり、画期的だと思う。

○事業係長

熊本地震の被災者と支援団体にゲストスピーカーとしてオンラインで参加していただく。令和2年度に田無公民館主催の防災講座でオンラインで福岡の方の話を聞いたが、そのときの反響が大きかったので組み込んだ。

○C委員

子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）について。オンライン開催の「ジェンダーの視点から考える防災、子育て支援団体による実践から学ぶ」の回を公開講座にできないか。昨今、避難所運営、防災会議には女性の参加も多い。「わが子を守る」というテーマの講座ではあるが、市内全域で共有できるとよいので検討してほしい。

地域づくり未来大学「～学びで地域を豊かにするための第一歩～」(柳沢)について。5年計画の講座の4年目になるので、どのような終わり方をするか考える時期であると思う。地域活動計画書を作った後どうするのか、終わってからのことも考えていく必要があると思う。

○事業係長

子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）は、内容に応じて公開が適しているかを確認の上、検討する。地域づくり未来大学（柳沢）は講座の卒業者をどうつなぐかが課題。公民館として支援をしながら卒業者が地域の活動につながっていくことが着地点だと感じている。

○D委員

女性のための講座（谷戸）について。学習内容「ウクライナ難民支援最前線に立つ」「映像で学ぶパレスチナ」「ミャンマーの今」「エッセイに見る平和」は女性限定ではもったいない。公民館として広がりを持たないのか。

○分館長(谷戸)

この講座は日頃社会問題について議論する機会を持つことが難しい、とりわけ幼い子を持つ女性が世界で起きていることを聞き、自分なりの意見を述べ合う機会とすること、互いを認め合い、課題解決に向けて共に考え行動する関係を築くことが目的。講師の問いかけや実体験をどう感じたか等グループワークする形で進めるということが柱となっている。

○E委員

女性のための講座（谷戸）について。講座の内容を作るとき、昨年度の「女性のための講座」の受講者とやり取りしながら企画したのか。

○分館長（谷戸）

準備会は行っていない。昨年度の講座の終了時にアンケート等で「このような講座を続けてほしい」という意見を頂いた。前回の反省も踏まえ、一つの事例をより深めて話し合えるような講座となっている。

○E委員

例えば高齢者対象講座「私だけの人生ノートづくり」（保谷駅前）は、高齢者対象ではあるけれど内容的には広がりのあるテーマ。「女性だけの方が話しやすい」と言っている「女性のための講座」の中身も女性特有のことではない。もう少し対象を一般化できないか。広がりを持つテーマなので、公民館事業全体の中の位置づけとしてターゲットにする層よりもう少し受講者層を広げ、「市民にとって」ということで実施すると深め方も変わってくる。

○D委員

ジェンダー平等、平和をテーマとし、女性のための講座（谷戸）のようなウクライナ、ミャンマー等を取り上げた4回位の一般対象講座を開催すると、多くの人が興味を持ってくれると感じた。

○事業係長

「女性のための講座」（谷戸）について。もともと女性の中で意見交換をする学びが目的の講座。今回はこの形で実施し、反響を見ながら次年度にどのような展開ができるか公民館として考えていきたい。

○E委員

講座の参加者だけでなく多数の方と共有するとよいと思う内容がいくつかある。ワークショップという形にはならないかもしれないが、多くの市民が関心のある内容については、その部分だけの参加者を募ることもできると思う。

○B委員

「女性のための講座」（谷戸）は「地域の女性同士忌憚なく話し合えるよう安心感のある場づくりを心掛け、共に考える関係を築く」が主旨の講座だと思う。幼い子の世話をする日常、ジェンダーという自分が抱えている目の前の課題と同等に世界で起きていることを結び付けていくことが主旨であり、公開講座はなじまないのではないか。ウクライナ、ミャンマー等皆が関心のある大きなテーマについては別だてで企画できるとよいと思った。

○E委員

大学の授業などでもゲスト講師を招いたときはそこだけ公開とする場合がある。議論は継続参加者の中でするとしても他の参加者の反応を見ながら議論することもできる。

○C委員

「女性のための講座」（谷戸）が取り上げるテーマであれば次年度というより今がよい。継続参加者の関係を壊さず対象を拡大できないか。このような事業を行っているということを広く伝え公民館を応援してくれる人を増やしていくという視点からもやり方を考えて広げることができないか。

○D委員

「女性のための講座」（谷戸）について。講座はこのままでもよいが、ウクライナ最前線でのどのようなやり取りがあったか、それを聞いた受講者がどのような感想をもったか結果を教えてほしい。

○F委員

「女性のための講座」（谷戸）をオンラインで開催できないか。公民館はもう少し広がりのあるイメージだったが対象が限られている講座がいくつかあるため、一部の人しか参加できない印象を持つ。女性のための講座をやろうとしたところ皆が関心を持っている内容になり、対象を広げてほしいという要望が出ている。特にコロナ禍で人数も少なく限られた講座数しかないのので、対象を広げようと考えてほしい。

○事業係長

「地域づくり未来大学」（柳沢）であれば、講演を聞く回、グループワークで深める回

があり、公開もやりやすいが、各回話し合いを重ね仲間づくりをしていくという狙いと難しいかもしれない。ただ、公開できるチャンスがあれば公開し、公民館が広がりを持つことも大切だと感じた。

○E委員

「一部の人しか聞くことができないのはもったいないから広げる」というだけではなく、対象外の参加者も入ることで揺さぶりをかける価値がある。世代を超えた感覚を感じることができる等、学んでいる人たちの契機となる。そのような挑戦をしてほしい。

○分館長（谷戸）

グループワークが基本の連続講座を企画し、講師と相談しながらグループワークに適した定員にした。この講座の一部を公開にすることは難しいと思われるが、意見を持ち帰り、今後の講座の在り方も含めて検討したい。

3 令和3年度公民館事業評価一次評価について

●公民館長より「令和3年度西東京市公民館事業評価表（案）」について、概要説明。

評価はA～Dの4段階。公民館の評価は概ねA評価だが、(2)施設管理の評価区分「防災」については、コロナなどの影響により防災訓練を行った館が3館に限られる等の理由によりB評価。(3)窓口業務の評価区分「学習相談」評価内容「学習情報整理」については、団体の定期的な活動情報の更新が未実施であったこと等からB評価とした。田無公民館耐震補強等改修工事の際の「田無公民館つうしん」など評価できる点もあったが、サークル紹介冊子の作成も十分ではないため今後の課題となる。令和3～5年度事業方針の実績と評価は後日記入する。

実績欄の該当事業については、後日詳細を示した資料をお渡しする。

4 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

コロナ対策における西東京市の現状について。コロナ対策本部の昨日の会議では開館時間、定員等の規制については「現状維持」で決定。しかし、本日発表された感染者数を見ると激増している。国、東京都の動向を見ながら公民館としてどう対応していくか検討していく。例えば「イスに座って！やぎさわディスコ」（柳沢）については感染リスクを懸念し実行委員会が中止の決定をした。障害をお持ちの方や高齢者が多く参加している事業等については公民館独自の判断も重要。オンライン開催についても検討したい。

(2) 公民館だより編集室報告

●担当委員より7月5日（火）開催の公民館だより編集室会議について報告

10月1日号1面特集は「まちなか先生」の予定であったが、2月1日号に延期。10月1日号は西東京市の川柳作家「暮田真名」氏を取り上げる。

(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

●担当委員より報告。

(4) 西東京市教育計画策定懇談会報告

●担当委員より7月15日（金）開催の第1回西東京市教育計画策定懇談会について報告。

5 事務連絡及び情報交換

(1) 利用者懇談会について

●G委員より7月1日（金）に開催した利用者懇談会に関する意見交換会について報告

●9月から10月にかけて開催予定の各館の利用者懇談会への公運審委員の参加について確認

●上記意見交換会における話し合いをもとに作成した「利用者懇談会のための事前アンケート（案）」について意見交換

●会長、副会長より利用者懇談会で配布する「公運審紹介」について説明

(2) 令和3年度公民館事業評価二次評価について

●令和3年度公民館事業評価二次評価検討会の日程を確認

(3) 令和4年度第4回定例会の開催について

日時：令和4年8月17日（水）午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室

(4) その他

○D委員

令和3年度から「まちなか先生」が実施されているが、現在の実施状況について知りたい。また、平和講座ではどのようなことが行われているか、事業評価にもかかわることなので確認したい。

○事業係主査

次回、用意する。